

蔵王 多彩な山行 ガーデニング・ミニコンサート・熊野岳・温泉

山行日： 2022年 6月12日（日）、13日（月）

参加者： L S木_m（記）、SLU田、Y口、会員外1名

場所：蔵王山（地蔵山、熊野岳）

行程： 12日松戸7:00＝柏IC＝山形上山IC＝蔵王ペンション村13:00

ガーデニング散策－ミニ・コンサート14:00～15:00ペンション・アップル宿泊

13日：ペンション7:50＝蔵王中央ロープウェイ駅8:10/8:30＝

鳥兜山頂駅8:40/8:50－片貝沼－ザンゲ坂－地蔵山頂駅9:20/9:30－

地蔵山頂9:55/10:05－ワサ小屋跡11:20/11:25－熊野岳11:50/12:10－

馬ノ背12:20/12:40－ワサ小屋跡13:10/13:20－イロハ沼－樹氷高原駅

14:40/14:45＝蔵王山麓駅－温泉入浴15:00/16:00＝山形上山IC＝柏IC

記

今回の山行は、この冬蔵王温泉スキーに来て宿泊したペンション・アップルの主人からこの時期のガーデニングの素晴らしさを盛んに吹聴され、是非一度と思ひ有志を誘って計画をした。この時期10軒のペンションがオープニングガーデンを開催、その中心となるのがアップルである。珍しい花々が咲き乱れており素晴らしい景色である。自慢のクレマチスは最盛期を過ぎておるがこれからはバラの季節との事。



又、偶然にも当日ミニ・コンサートが開催された。

散策の後はミニ・コンサートである。

ペンション・アップル

新型コロナの影響で開催するのは2年振りとの事、

Shinonome 西塔氏のピアノ演奏である。コーヒーと茶菓子を頂きながら暫しピアノの音に耳を傾け憩いのひと時であった。このところ不安定な空模様であったが、翌朝は久



しぶりの晴天、熊野岳・お釜が楽しみである。8時30分発の中央ロープウェイで鳥兜山山頂駅に向かう。スキーシーズンとは異なり貸切状態である。山頂駅から暫くは緩い下り、片貝沼を一周し、パラダイスグレンデを登る、イワカガミ、ショウジョウバカマ、ムラサキヤシオ等を愛でながら稜線に出る、そこはザンゲ坂である。

スキーでは何回も下ったが登るのは勿論初めてである。右手には枯れたアオモリトドマツが見える。樹氷の元になる木である。

Shinonome 西塔氏



最近は樹氷が綺麗にできないとあるが、この枯れ木ではもっともだと思う。寂しい・悲しい気分になる。暫く登ると傾斜が緩くなりロープウェイの蔵王山駅である。地蔵山山頂は広く樹木がないため展望が開けている。

遙か遠くに雪を頂いた、朝日連峰や月山がみえる。

ワサ小屋分岐を経て熊野岳に向かう登山道は良く整備されており歩きやすい。

ルート上は風の通り道、気温は低く強い風で寒い、上着を着込む。熊野岳山頂では神社の裏側で風を避けて休憩する。環境パトロールの人によるとコマクサの見頃は7月上旬からとの事、またアカヤシオと思ったのはムラサキヤシオであった。

道理で紫色が強かった。山頂を離れ御釜を見るために馬ノ背へ下る。暫し眺めを楽しんだ後、帰路に着く。頑丈な石造りの熊野岳避難小屋（火山の爆発に備え）の脇を通過ワサ小屋分岐に向かう。

分岐からはイロハ沼經由樹氷原駅に向かう、途中道が2か所崩れており慎重に通過した。イロハ沼は池塘である、小さな沼が点在して

いる、中でサンショウウオが見えた。

ユートピア・ゲレンデを下れば樹氷高原駅である。近くの温泉にゆったり浸かり初夏の蔵王旅を満喫した。ご同行の皆様有難うございました。



ムラサキヤシオ
大展望台にて



御釜と残雪